

番号	氏名	抱負
051	大塚 昌彦	私は過去、専門部会委員や学術調査研究班委員などを歴任し、微力ながら学会活動に貢献してきました。現在、日常的な仕事は顎顔面領域の撮影で、特に歯科関係の撮影をルーチンでは行っています。しかし、歯科大学病院などでもこの領域の撮影だけは、未だにX線フィルムを使用している施設もあります。この例のように特別なことが多く、専門化の一人として会員の役に立つ情報を発信していきたいです。よろしくお願い致します。
052	大野 誠一郎	診療放射線技師の発展のためには、放射線技術学会と診療放射線技師会は大変大きな役割を担っています。特に、地方においては技術学会と技師会の親密度が会の活性化に繋がります。中国四国支部では、合同事業を10年以上前より開催し多くの会員の参加を得ています。また、MR研究会を通して地域の活性化に少しでもお役に立ちたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。
053	大野 剛	私は熊本大学医学部保健学科で助教を務めております大野と申します。まだまだ未熟ではありますが、JSRTの発展、放射線技師の研究環境改善、放射線技術学分野の向上に貢献したく、立候補させて頂きました。どうぞ宜しくお願い致します。
054	大野 肇	今回も立候補いたしました。北海道支部は、とても広いです。例えば旭川から釧路に行こうとすると6時間半はかかります。私は広い北海道支部で、各地方と北海道支部を繋ぐ役割をしております。今後も学会において、地方と中央を繋ぐ役割をしていきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。
055	大野 吉美	JSRTの会員が、各施設で活躍し施設及び部門等で正当な評価を受けることは、個人のスキルアップだけでなく診療放射線技師の地位向上に役にたつ事と考えています。そのために私にできることは、JSRTの将来構想を良く理解し、自分の大学病院の将来構想と整合性を取り、今後の診療放射線技師の働き方を構築する環境整備をすることです。特にグローバルな展開は必要と考えています。
056	大橋 一也	会員の負担ができるだけ減らしたいと思います。よろしくお願い致します。
057	大平 知之	若い人の意見にしっかりと耳を傾け、若者が参加しやすい、発表のしやすい研究会や学会を開催していきたい。熟練者と若者の橋渡しをして、技術だけでなく、人間的にも優れた技師の育成に力を入れていきたい。
058	大元 謙二	私は中国四国支部運営小委員会ならびにCT研究会の世話人を務めてまいりましたので、その経験を活かしたいと思います。現在の学会発表は装置データに関することや物理データに関するものが多くを占めていると思われ、今後は加えて臨床に関する研究や発表も増やしていく必要があると考えます。それにより学会としても発展し、多くの専門家の方々との議論の場も増えると考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。
059	小笠原 克彦	私は、日本放射線技術学会において、北海道支部および編集委員会の活動を中心に活動して参りました。引き続き、代議員として、地方支部の活性化と学術研究の推進に取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。
060	小笠原 将士	現在の日本の医療の中で、日本放射線技術学会が国民に何を提供出来るか、画像診断や放射線治療の学会活動を通して日本医療の未来にどんな貢献をすることができるのかを主軸として活動していきたいと思っております。それが日本放射線技術学会の役割の一つではないかと考えます。微力ではありますが、その一端を担えればと思っております。よろしくお願い致します。